

大地震発生！ どう行動するか！

1 身の安全を確保する

- ・我が家の耐震性が心配なら、速やかに屋外へ出る
- ・2階は1階より安全・・・揺れている間に階段を下りるのは危険
- ・台所は危険がいっぱい、直ぐ離れる、ガスは自働で遮断
- ・廊下はより安全

2 周囲の人の安否を確認する

- ・外出している家族はそれぞれ自分で対処してもらう
- ・在宅の家族の安全が確認できたら、安否シグナルを門扉に掲示
- ・ご近所のみなさんの安否を確認・・・
班長、近隣ネットボランティアに協力
- ・初動救助が必要な時はご近所みんなで出来ることをする

3 自治会拠点に出向いて被災状況を報告すると共に情報をつかむ

- ・自治会拠点とは、自治会が公園に設置する災害対策本部のこと
- ・班長は各世帯の安否状況をまとめて、自治会に報告する
- ・公園の災害対策本部は情報の発信基地

4 自宅が寝泊りできない状況になったら、避難所（片瀬中学）に避難する

避難所で受けられるサービス

- ・寝られるスペースとござ・毛布
- ・飲料水（プールのろ過水、飲料水入荷までに丸一日は覚悟）
- ・非常食ビスケット

1 身の安全を確保する

- ・耐震チェックで我が家の弱点をつかもう！
- ・家具の転倒防止策はできているか
- ・就寝中に地震発生したらどう行動するか
- ・外出中だったら・・・
 - ・津波が心配な地域に居たら？
 - ・地下街に居たら？
 - ・ビルの谷間を歩いていたら？

2 周囲の人の安否を確認する

- ・班長や近隣ネット（防災ボランティア）は班内の各世帯の安否を確認します。無事だったら、自治会毎に決まっている安否シグナルを門扉に掲示してください。
- ・ご近所で出火したところはないか
- ・家具の下敷きになって動けなくなっている人はいないか
- ・ご近所みんなで助け合おう

3 自治会拠点に出向いて被災状況を報告すると共に情報をつかむ

- ・自治会の災害対策本部は自治会が近隣ネットと共に設置
- ・各公園の災害対策本部は情報の発信基地であると同時に災害救援物資の配給拠点でもある
- ・救援物資の供給を受けるには自治会として行政が定める被災者名簿を整える必要がある

4 避難所は自宅で寝泊りできなくなった人の生活の場

避難所のサービス体制が整うには日数を要する

- ・食料などは当面の分を自ら持参する覚悟が求められる

編集後記：

保 存 版

としてお使い下さい



発行：片瀬山防災会

連絡先：メール kataseyama.bousaikai@gmail.com

発行責任者：会長（若月）編集責任者：広報（和田）